

(1) 「みんなのまち」への市民自治づくり

新

地域公共交通整備事業

<<担当：市民課>>

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
21年度	8,117	0			8,117

平成21年3月に策定した「大竹市地域公共交通総合連携計画」に基づいて事業を実施しました。

10月から幹線バス及び三ツ石地区乗合タクシーの実証運行を開始し、12月にはアンケート調査により利用実態やニーズの把握に努めました。

また、ワークショップによる「沿線おさんぼマップ」の作成により利用促進を図るとともに、2月には沿線事業者に対しアンケート調査を行い、通勤などの新たな需要に対する分析や啓発を行いました。

【事業の実施状況】

- 大竹市地域公共交通活性化協議会の開催 全4回
- 幹線交通検討分科会の開催 全15回

公募による市民委員13人により幹線バスの実施計画の策定、バス停・ポスター設置の交渉、利用状況の検証、改善策の検討などを実施。

- 先進地視察（山口市：サルビア号） 参加者19人
- 広報紙による啓発記事掲載 全12回
- 幹線バスの実証運行

10月26日からJR玖波駅～大竹駅間を結ぶコミュニティバスの実証運行を実施。

全長8km バス停19カ所 32便/日 利用者数23,547人（150人/日 4.7人/便）収支率38.2%
時刻表等を掲載したチラシの全戸配布やポスターを掲示して周知と利用促進に努めた。

- 三ツ石地区乗合タクシーの実証運行

10月5日から支線交通として三ツ石地区⇄市役所・ゆめタウンを結ぶ乗合タクシーを運行
運行日 月・火・金 10便/日 利用者数530人（294台） 7人/日 1.8人/台
収支率：48.8%

- アンケート調査の実施

- ・市民アンケート 配布部数1,000世帯 回収率39.6%
- ・利用者アンケート 配布部数256件 回収率58.2%
- ・施設設置アンケート 回答数32件

- 沿線おさんぼマップの作成

幹線バスの利用促進を図るため、生涯学習グループと連携して、沿線の見どころや面白ポイントを掲載したマップを作成。大竹・小方・玖波版 各1,000部発行

- H21年度大竹市地域公共交通総合連携計画の策定（通勤交通グリーン化プログラム）

公共交通による通勤促進による低炭素社会の実現を目的として、幹線バスによる通勤のニーズ把握と啓発を実施。

- ・事業所調査 配布部数 102件 回収率48.0%
- ・従業者調査 配布部数2,225件 回収率44.8%

地域不法投棄対策事業

《担当：環境整備課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
20年度	3,908	1,878			2,030
21年度	2,519	1,259			1,260

地域の快適な生活環境を守るため、普及啓発活動の実施、監視パトロールや住民参加の不法投棄廃棄物の回収及び処理等の取組みを実施しました。

【事業の実施状況】

- ・市内監視パトロール及び不法投棄廃棄物の回収（週4～5回）
- ・普及啓発活動（広報掲載、ごみ収集カレンダー・出し方パンフレット作成）
- ・自治会連合会が実施する「ごみの不法投棄実態調査及び回収処理」への協力（2～3月実施）
- ・不法投棄対策連絡会の開催（自治会連合会、大竹警察署、市関係部署）
- ・河川一斉清掃「クリーン小瀬川」への協力（7月12日実施）
- ・「空き缶等路上散乱ごみ追放キャンペーン」への協力（9月6日実施）
- ・広島地域廃棄物不法投棄防止連絡協議会合同パトロール監視（11月19日実施）

公園環境美化推進事業

《担当：都市計画課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
20年度	233				233
21年度	209				209

【事業内容】

地域の公園（街区公園）の清掃美化活動については、自治会などのご協力を頂いており、活動に必要な物品の支給や草刈機の貸し出しを行っております。地域コミュニティを推進し、きれいで見通しがよく安全な公園の環境整備を図りました。

【事業の実施状況】

平成21年度は、25の登録自治会（団体）が、この制度を利用して頂きました。

○ 主な支給物品

- ・刈払機の刃、燃料
- ・軍手や鎌、ほうきなどの掃除道具

拡充

市民活動支援事業

《担当：地域振興課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	150			80	70
20年度	150				150
21年度	183				183

市民ニーズに対する満足度を高めるとともに、市民活動の自主性の向上を図ることを目的として、市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業を公募し、助成金を交付しました。

【事業の実施状況】

立ち上げ初期の団体の成長・自立を支援する助成金（スタート支援助成金：上限5万円）を4事業に対し交付しました。

＜実施事業内容＞

①無料救命救急講習会（心肺蘇生を広める会@大竹）【助成額32,448円】

心肺蘇生法（AED含む）の講習会を市内自治会や小・中学校、コイ・こいフェスティバル会場などで計13回開催しました。参加者計436人

②子育て支援事業（親と子の本のひろば あいいく館）【助成額50,000円】

毎週土曜日の開館日に季節にあった工作や遊びをしたり、ソプラノ歌手を招いた音楽会を開催するなど、活発な活動を行いました。

- 絵本まつり 参加者80人
- みんなの音楽会 参加者85人
- クリスマス会 参加者80人
- お楽しみ会 参加者55人

③フラワー通り活性化事業（一丁目フラワー通りグループ）【助成額50,000円】

年間を通して、玖波駅前からコミュニティサロン玖波間の市道を季節の花で飾る活動を実施し、地域住民の交流を図りました。

④他地域との交流事業（松ヶ原町振興協議会）【助成額50,000円】

耕作放棄地を活用した農業体験のほか、地域外から広く参加者を募集して「蛍の生態とトンボの羽化を勉強・観察する会」（参加者約220人）を開催しました。

応急手当等の普及啓発事業

《担当：消防本部》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
21年度	166				166

市民の安心安全を守るため、救急救命講習等を開催し、応急手当の普及啓発に努めています。

【事業の実施状況】

主な整備及び講習状況は次のとおりです。

- 21年度 心肺蘇生シュミレーター一式(訓練人形)
- 普通救命講習(3時間) 13回, 受講者252名
- 救急講習(2時間) 12回, 受講者265名

自主防災組織の育成指導事業

〈担当：総務課〉

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	1,130			1,000	130
20年度	617				617
21年度	510				510

防災意識の高揚及び地域の防災力の向上を目的として、市内の新設・既設の自主防災組織に対して、活動のための資金を交付し、防災活動に必要な資機材の整備を行うもので、平成21年度においては、6組織に対して助成金又は資機材の交付を行いました。

【事業の実施状況】

○自主防災組織の設立状況

年度	地区	設立数
18年度	防鹿, 後原, 大人原・大迫, 元町四丁目, 新町三丁目, 白石一丁目, 玖波一丁目, 港町一丁目	8
19年度	黒川自治会連合会, 比作, 元町二丁目, 玖波七丁目, 玖波四丁目	5
20年度	西栄一丁目, 穂仁原, 立戸地区自治会連合会, 新町二丁目, 谷尻, 三ツ石, 広原, 小栗林	8
21年度	玖波八丁目	1

※ 平成22年7月現在 25組織(38自治会)

○自主防災組織の活動及び資機材

活動の種類	防災資機材など
情報収集(災害時)	ラジオ, トランシーバー, メガホン, 携帯無線機, サイレン, 非常用放送設備など
消火活動	可搬式動力ポンプ, 簡易防火水槽, ホース, 格納器具一式, 消火器, バケツ, ヘルメット, 消火活動服など
水防活動	スコップ, つるはし, ロープ, 土のう, 防水シート, 土のう用砂, 一輪車, 救命胴衣など
救出・救護活動	エンジンカッター, テント, チェーンブロック, 救急セット, はしご, 担架, 防塵マスク, 保護めがね, のこぎり, 発電機, 保護手袋, 救助工具, リヤカーなど
給食・給水活動	給水タンク, ろ過装置, 釜, 鍋, 炊出しセット, ガスボンベ, 炊飯装置など
避難誘導活動	標識板, 小型ライト, 標旗ほか
防災教育活動	放送機器, ビデオ装置, 訓練用消火器, ビデオ教材, 防災パンフレット, 地図ほか
その他(防災倉庫整備, 地区内見回りなど)	資機材などの収納倉庫, 簡易トイレほか

コミュニティづくり推進事業

《担当：市民課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	5,360			2,400	2,960
20年度	4,460			1,500	2,960
21年度	5,160			2,200	2,960

地域の連携を深め、住みよい地域社会の形成に向けて取り組んでいるコミュニティづくり推進協議会の活動に対する助成をしました。

【事業の実施状況】

- 「第13回 コイ・こいフェスティバル・イン・おおたけ」の開催
来場者数：約20,000人（来場者アンケートでは約80%が市内の方 《アンケート数：107件》）
出店者数：67団体（飲食・物販：37、フリーマーケット：30）
- 広報誌「こみゅにていおおたけ」の発行
発行部数：12,500部
- 宝くじ助成事業を活用し、備品購入
テント 23張
トランシーバー 20台

らんらんサポーター事業

《担当：生涯学習課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	0				0
20年度	0				0
21年度	0				0

「らんらんサポーター」は、仕事や趣味で得た知識・技術を持った方に登録していただき、ボランティア指導者として活躍していただいているもので、現在13の活動ジャンルに延べ72人（登録者数は63人）が登録しており、学校や公民館で活躍しています。

平成21年度も、引き続き子ども会などさらに多くの団体やグループが行う体験教室や学習活動を支援していくため、学校や公民館だけでなく、放課後子ども教室や「おおたけっらんらんカレッジ事業」などの子どものための教室での指導にも活動を広げていき、学びを通じた交流の中から市民参画による「まちづくり」の輪を広げていくことに努めました。

放課後子ども教室のサポート等に、今後も積極的に協力出来るよう、登録者拡大に努めていく必要があります（詳しい募集内容についてはチラシ・市ホームページに掲載しています）。

【事業の実施状況】

- サポーター登録状況（延人数）

ジャンル	スポーツ	音楽	芸能	パソコン	ものづくり	園芸	写真
登録人数	9	5	5	4	15	3	2
ジャンル	料理	囲碁・将棋	茶道	書道	自然	その他	合計
登録人数	7	10	2	1	2	7	72